

松井 照太 | MATSUI Shota

1994年 京都府生まれ

2018年 京都市立芸術大学 彫刻専攻 卒業

主な展覧会 |

2020年 「ウィルヘルミーの吊り板」, MEDIA SHOP | gallery2, 京都

2021年 「Macguffin - 変転するイメージ -」, Gallery TOH, 東京

「ATAMI ART GRANT」, 薬膳喫茶 gekiyaku, 静岡

URL | https://www.instagram.com/shota_matsui/

松井は、石の自然美、重さに興味を持ち作品の中に無加工の石をそのまま取り入れる立体作品を中心に制作しています。

XORK11Fにて新しい試みを形にした新作は、アクリルチューブの中に置かれた石が重力に従い、少しずつ降下していきます。浮かぶ石というイメージと、時と共に降下していく石が残す軌跡は、私たちを取り巻く重力という基本的な力について改めて考えるきっかけをくれます。またこの変化は、一見不変のように見えるものも時と共に変化していくのだという当たり前のことを気付かせてくれます。

なお、13Fには石をアクリルで固定することで、重たい石が浮いているような作品を展示しました。



《 $y = (mg - pVg - kv) t$ 》

2022

890 × 300 × 250 mm

石、スライム、アクリル



《 $F = mgr \sin \theta$ ($F = \text{support medium}$) #12 》

2021

920 × 460 × 130 mm

石、アクリル、木板、アルミ